

2017年12月15日

住友生命保険相互会社

<第28回>

2017年の世相を反映した

『創作四字熟語』50編

住友生命保険相互会社（社長 橋本雅博）は、2017年の世相を的確に表現した『創作四字熟語』を広く一般から募集しました。

この企画が生まれたのは、今から27年前。1年の出来事を漢字四文字で振り返るという、いわば『ことばの遊び』を提唱したところ、多くの人々の共感を呼び、“その年に感じたことを漢字に託す”という全く新しい概念が誕生しました。

28回目を迎える今回は、全国から12,699作品が寄せられました。

以下は、ご応募いただいた作品についての集計と審査結果です。

〔募集概要〕

- 募集期間 2017年9月14日～11月2日
- 有効作品数 12,699作品
- 募集地域 全国（47都道府県）
- 募集方法 ハガキ、当社規定の応募用紙、インターネットによる応募。
記入事項は、未発表の作品およびその読み方、元のことばと簡単な説明。
- 審査員 俵 万智（歌人）
- 作品応募者の内訳（複数回答）

全 体	男性	女性	～10代	20代	30代	40代	50代	60代～	不明
12,699	10,571	2,128	77	529	4,793	1,851	2,211	3,230	8
100.0	83.2	16.8	0.6	4.2	37.7	14.6	17.4	25.4	0.1

上段＝作品数、下段＝構成比（％）

〔作品傾向〕

- 応募作品の内容（ジャンル別）
 - 1) 政治・経済 (衆議院選挙、政党改編、働き方改革、プレミアムフライデーなど) 4,573作品(36.0%)
 - 2) 社 会 (眞子さまご婚約、パンダ出産、自然災害、ヒアリ騒動など) 2,657作品(20.9%)
 - 3) 国際情勢 (米トランプ政権、北朝鮮ミサイル発射、サイバー攻撃など) 1,358作品(10.7%)
 - 4) 文化・スポーツ (将棋・藤井四段、陸上・桐生選手、大相撲・稀勢の里関など) 2,516作品(19.8%)
 - 5) 流行・芸能 (インスタ映え、ヒット商品、人気お笑い芸人など) 1,595作品(12.6%)

〔今年の傾向〕

働き方改革、“プレ金”スタート、郵便料金が23年半ぶりの改定

消費拡大と働き方改革の推進を目指し、月末の金曜日に「**勸金早退**」するプレミアムフライデーがスタート。この機を逃すな！と飲食店などでは「**金曜感謝**」の特別メニューを用意しました。

IT技術の活用で自宅などの職場から離れた場所で仕事をする“テレワーク”を導入する企業が増え、「**改革勤務**」が進んでいます。しかし一方で、宅配業界では、ドライバー不足とネット通販の取扱量急増で「**荷労困配**」の状態に。労働環境改善のためやむなく値上げとなりました。23年半ぶりの改定となった「**郵便料新**」も、52円から62円に。ハガキに「**十円貼手**」投函する人も増えたのではないのでしょうか。

新・米大統領誕生、ミサイル通過、Jアラートにハラハラ

国際情勢は、“米国第一主義”の新大統領の誕生で幕を明け、世界に「**万事虎風**」が吹き荒れました。米朝関係は緊張状態が続き、その余波からか日本上空をミサイルが通過する事態に。政府は12道県に“Jアラート”で避難を呼び掛けましたが、幸いにも「**J音無事**」でした。5月には、世界各国でサイバー攻撃が同時多発し「**電網怪壊**」の大騒ぎに。経済構想“一带一路”を打ち出した中国は「**中央習権**」を強化、スペインではカタルーニャ自治州が「**西抗州独**」を宣言するなど、各国で様々な動きが発生しています。

また、米国ラスベガスでの銃乱射事件など、一般市民を無差別に攻撃する「**憂銃悲弾**」も頻発した1年でした。世界が平穏な時に包まれる日を願うばかりです。

衆議院解散・総選挙で右往左往、株価上昇、新名所の誕生も

国内では、突然の衆議院解散・総選挙で右往左往、「**政変霹靂**」となりました。小池百合子都知事が新党を立ち上げて「**一気党編**」するなど、一躍「**都希之人**」になりました。結果は与党の大勝で「**自公持続**」となり、選挙結果が評価されたのか、東京株式市場の日経平均株価が史上初16営業日で「**連日連騰**」を記録しました。このまま景気回復となるのでしょうか。

東京・銀座6丁目では新たな複合商業施設が「**銀六披露**」され、連日の大賑わいで経済活性化に一役買っています。また、福岡県の古代遺跡『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界文化遺産に「**遺産宗録**」され、世界に誇れる新たな新名所が誕生しました。

自然災害、続く天候不順に閉口、迷惑なヒアリ

7月の“九州北部豪雨”では河川の氾濫、家屋の浸水など「**危険水威**」による甚大な被害をもたらし、10月には超大型の台風21号に続き22号と2週連続で「**台風重来**」しました。被害を受けられた地域の1日も早い復旧を祈ります。都心では8月、連続降水記録が歴代2位の21日間を記録。「**閉口雨続**」の悪天候に見舞われ、日照不足で野菜が高騰し、レジャー施設には閑古鳥が鳴くところも多くありました。

強い毒を持つ南米原産の“ヒアリ”がコンテナなどに紛れ込んで上陸し、「**火蟻猛走**」。各地で対策に迫られるなど本当に「**蟻来迷惑**」でした。迷惑と言えば、「**煽々恐々**」の“あおり運転”。痛ましい事故が発生するなど社会問題となりました。産業界では、データ不正や無資格者による検査など「**管理怠制**」によるルール違反が発覚し、世界に誇る日本の“ものづくり”に陰りも。医療界でも臍帯血を国に無届けで移植した「**恐行臍血**」で逮捕者が出るなど、いずれも再発防止を徹底し、信頼回復に努めてもらいたいものです。

命名「香香（シャンシャン）」、サッカーW杯出場決定、新横綱誕生に喜びの声

暗いニュースを吹き飛ばしてくれたのが、上野動物園のジャイアントパンダのシンシンです。6月に待望の赤ちゃんを出産、32万件を超える「**香名盛大**」の応募の中から「**呼子香香**」と命名されました。もうすぐ元気な姿がお披露目されるようで注目を集めています。注目といえば、岡山県の渋川動物公園で逃走したアルダブラゾウガメの「アブー」も話題に。懸賞金も用意され「**亀捜園外**」で無事に発見されました。

サッカー日本代表は、W杯ロシア大会の最終予選で「**蹴勝露杯**」し見事6大会連続6度目の出場を決めました。角界では、稀勢の里関が第72代横綱に昇進。19年ぶりの日本出身横綱誕生に「**綱稀祝盛**」と盛り上がりました。

また、日本人の4年連続ノーベル賞受賞は逃しましたが、長崎県生まれの英国人作家カズオ・イシグロ氏がノーベル文学賞に輝いたことで日本中が「**筆輝一雄**」となりました。

若い世代の活躍に期待、100m10秒の壁突破、空前の将棋ブーム

2020年に世界の頂点を目指すスポーツ界。陸上男子100m走で、桐生祥秀選手が「**九九八新**」の走りで「**桐走十内**」という大記録（9秒98）を樹立。体操の世界選手権では、床運動で白井健三選手と村上茉愛選手が「**金床転決**」の美技で揃って金メダルを獲得。野球界では、高校最多本塁打111本をマークした清宮幸太郎選手に注目が集まり、ドラフト会議では7球団が競合の末、「**七選八当**」で見事北海道日本ハムファイターズが交渉権を獲得しました。

若い世代の活躍は、スポーツ界だけではありません。中でも、最大の注目の的は「**棋聡天才**」の最年少プロ棋士・藤井聡太四段です。29連勝という「**連聡棋録**」を達成し、瞬く間に将棋ブームを巻き起こしました。将来の棋士を目指す子どもたちで、各地の将棋教室は盛況の様です。

“日本一楽しい漢字ドリル”大ヒット、SNSでは“インスタ映え”が人気

今年も様々なヒット商品が誕生しましたが、中でも、小学生に大ヒットしたのが「**珍文漢糞**」満載の『うんこ漢字ドリル』です。「これならやる！」と「**便教熱心**」になった子どもたちも多かったのではないのでしょうか。お笑い界で人気となったのは、「**盆裸万笑**」芸で“R-1ぐらんぷり”の王座を勝ち取ったアキラ100%さん。お盆を使った瞬間芸にテレビの前でヒヤヒヤの連続でした。キャリアウーマンに扮した「**才職兼B**」のブルゾンちえみさんも大ブレイク。チャリティ番組のマラソンランナーに選ばれるなど、多才ぶりを発揮しました。

SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の話題は今年も絶えません。若者を中心に写真共有アプリ「インスタグラム」が絶大な人気となり、今や商品や食べ物、観光スポットなど“インスタ映え”が「**映利多売**」の必須条件となりました。動画サイトに「**喜機快回**」の技が投稿されて話題となった玩具・ハンドスピナーも大ヒット。ストレス解消や禁煙などにも役立つのではと言われています。「**非煙楚歌**」の喫煙者には嬉しい商品となるかも知れません。

また、6月に34歳の若さで亡くなられたフリーアナウンサーの小林麻央さんの闘病生活をつづったブログも話題となりました。多くの人を勇気づけ「**麻央共感**」を呼びました。心よりご冥福をお祈りいたします。

「**世代皇代**」を実現する退位法案が成立。平成も残り1年余りとなりました。元号が変わっても、平成の名に込められた“国の内外、天地とも平和が達成される”との思いは変わらずに継承されることを心から願います。そんな折、日本国中が喜びと笑顔に包まれたのが、秋篠宮家の長女・眞子さまと同級生・小室圭さんとのご婚約です。会見では「**月下想人**」の微笑ましいエピソードをご披露された「**圭眞誓愛**」のお二人。末永い幸せをお祈り申し上げます。

以上

◆◆◆ 優秀作品10編 ◆◆◆

(敬称略・順不同)

きそうてんさい
棋聡天才
(奇想天外)

将棋の天才、藤井聡太棋士。

神奈川県・柴谷 佳寿美 (42歳) 大阪府・森田 和城 (49歳)
愛知県・波多野 賢太郎 (42歳) 静岡県・吉川 隆義 (63歳)
山口県・佐々木 康之 (50歳)

きゆうきゆうはっしん
九九八新
(緊急発進)

桐生祥秀選手、100メートルで日本人初の9秒98。

徳島県・安藝 達也 (44歳)

せいへんへきれき
政変霹靂
(青天霹靂)

衆議院解散、希望の党結党、民進党合流…。目まぐるしい政界の動き。

北海道・山重 真一 (62歳)

にろうこんぱい
荷労困配
(疲労困憊)

宅配業界の人手不足が深刻。

青森県・池田 毅 (64歳)

ありきためいわく
蟻来迷惑
(有難迷惑)

コンテナにくっついて猛毒を持つヒアリがやってきた。

大阪府・石橋 直子 (75歳)

せだいこうたい
世代皇代
(世代交代)

「退位特例法」成立。

神奈川県・木本 英男 (56歳)

じえいおんぶじ
J音無事
(平穩無事)

国民に緊急避難を呼び掛けるJアラートが発動したが、事無きを得た。

大阪府・渡辺 廣之 (64歳)

ちゅうおうしゅうけん
中央習権
(中央集権)

中国は習近平体制で権力集中。

愛知県・古川 明夫 (69歳) 千葉県・和田 秀樹 (52歳)

ぼんらばんしょう
盆裸万笑
(森羅万象)

アキラ100%さん、お盆ひとつの裸芸でブレイク。

神奈川県・山口 則彦 (51歳) 大阪府・松原 敬二 (47歳)

ちんぶんかんぶん
珍文漢糞
(珍紛漢紛)

うんこが入った例文で、子どもが楽しく漢字を覚えられる。

東京都・松波 正機 (32歳)

◆◆◆ 入選作品40編 ◆◆◆

	創作四字熟語	意味・作者 (敬称略・順不同)	元のことば
政	一気党編 いっきとうへん	衆議院の解散を目前に、一気に政党の改編が進んだ。 徳島県・澤田 和之 (53歳)	一騎当千
	自公持続 じこうじぞく	衆議院選挙にて、自民党、公明党の与党が議席の3分の2を確保した。 兵庫県・林 高広 (31歳) 愛知県・古川 明夫 (69歳)	自給自足
	都希之人 ときのひと	知事と希望の党代表、二足のわらじをはいた小池百合子氏。 東京都・小杉 賢一 (60歳)	時の人
治	銀六披露 ぎんろくひろう	大型商業施設「GINZA SIX(ギンザ シックス)」が開業し、東京にまた新名所が誕生した。 大阪府・渡辺 廣之 (64歳)	金属疲労
	勸金早退 かんこんそうたい	月末の金曜日に早めの退社を促す「プレミアムフライデー」がスタート。今後の動向が注目される。 千葉県・服部 朝樹 (56歳) 京都府・堀井 弘 (57歳)	冠婚葬祭
経	金曜感謝 きんようかんしゃ	「プレミアムフライデー」の導入で、金曜日に早く帰れるようになった。 愛媛県・福岡 英治 (49歳) 愛知県・柴田 紀子 (63歳) 埼玉県・星地 絵美 (50歳)	勤労感謝
	連日連騰 れんじつれんとう	日経平均株価が連騰、歴代最長記録を更新。 茨城県・後藤 貴弘 (39歳)	連日連投
	十円貼手 じゅうえんはって	郵便料金改定、ハガキが52円から62円に。 神奈川県・改発 利佳 (52歳)	十円切手
	郵便料新 ゆうびんりょうしん	23年半ぶりに郵便料金が改定された。 神奈川県・大森 俊二 (84歳)	郵便料金
社	改革勤務 かいかくきんむ	働き方改革。自宅で働くなど新しい勤務スタイルが広がる。 茨城県・後藤 貴弘 (39歳)	在宅勤務
	亀搜園外 きそうえんがい	岡山県の動物公園でアルダブラゾウガメが脱走し行方不明に。懸賞金が掛けられようやく保護された。 神奈川県・木本 英男 (56歳)	奇想天外
	恐行臍血 きょうこうさいけつ	臍帯血の無届け投与で逮捕者。 茨城県・後藤 貴弘 (39歳)	強行採決
	呼子香香 こしちゃんしゃん	6月に上野動物園で待望の赤ちゃんパンダが誕生。「香香(シャンシャン)」と名付けられた。 千葉県・服部 朝樹 (56歳) 京都府・堀井 弘 (57歳) 愛知県・菊入 元久 (81歳)	虎視眈眈
会	香名盛大 こうめいせいだい	ジャイアントパンダの赤ちゃんの名前が決定。 岐阜県・細田 紘一 (76歳)	公明正大

◆◆◆ 入選作品40編 ◆◆◆

	創作四字熟語	意味・作者 (敬称略・順不同)	元のことば
社 会	火蟻猛走 ひありもうそう	ヒアリが国内で繁殖しているのではないかと大騒ぎになった。 神奈川県・富士原 瞳 (33歳)	被害妄想
	危険水威 きけんすい	ゲリラ豪雨による河川の氾濫が恐ろしかった。 茨城県・後藤 貴弘 (39歳)	危険水位
	台風重来 たいふうちようらい	週末台風ともいわれ、10月に2週連続で台風がやってきた。 大阪府・中村 真澄 (41歳)	捲土重来
	煽々恐々 せんせんきょうきょう	割り込み・幅寄せなどの煽り運転による交通事故が発生し、 社会問題となった。 千葉県・石原 正雄 (71歳)	戦戦兢兢
	閉口雨続 へいこううぞく	この夏、仙台や東京ではうんざりするほどの雨を観測した。 大阪府・渡辺 廣之 (64歳)	晴耕雨読
	非煙楚歌 ひえんそか	受動喫煙防止法の議論の影響で愛煙家は四面楚歌の状態に・・・。 茨城県・後藤 貴弘 (39歳)	四面楚歌
	管理怠制 かんりたいせい	企業でのデータ不正、無資格検査などずさんな管理体制が問題に。 東京都・小杉 賢一 (60歳)	管理体制
	圭眞誓愛 けいしんせいあい	秋篠宮家の長女眞子さまと小室圭さんの婚約が内定された。 永遠の愛を誓い、末永くお幸せに。 北海道・加藤 勇太 (32歳)	誠心誠意
	月下想人 げっかそうじん	眞子さまと小室圭さんの婚約内定会見で「きれいな月を見つめますと 嬉しくなり、宮さまにお電話をおかけしています。」と発言された。 東京都・緒形 哲生 (35歳)	月下氷人
国 際 情 勢	電網怪壊 でんもうかいがい	世界各国で大規模なサイバー攻撃が発生し、大きな被害を受けた。 神奈川県・山口 則彦 (51歳) 大阪府・渡辺 廣之 (64歳) 青森県・池田 毅 (64歳)	天網恢恢
	西抗州独 せいこうしゅうどく	スペイン政府に対し、カタルーニャ州が独立を宣言した。 宮崎県・大浦 太輔 (37歳) 大阪府・山野 大輔 (42歳)	晴耕雨読
	万事虎風 ばんじとらふう	オレ流のトランプ米大統領誕生。 神奈川県・改発 利佳 (52歳)	馬耳東風
	憂銃悲弾 ゆうじゅうひだん	ラスベガスで銃の乱射事件発生。全米史上最悪の被害となった。 神奈川県・木本 英男 (56歳)	優柔不断
ポ 文 化 ・ ツ ス	筆輝一雄 ひつきいちゆう	長崎県出身の英国人作家、カズオ・イシグロ(石黒一雄)氏が ノーベル文学賞を受賞。 青森県・池田 毅 (64歳)	一喜一憂

◆◆◆ 入選作品40編 ◆◆◆

	創作四字熟語	意味・作者 (敬称略・順不同)	元のことば
文 化 ・ ス ポ ー ツ	遺産宗録 いさんそうろく	『『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群』が、世界文化遺産に登録。 茨城県・後藤 貴弘 (39 歳)	遺産相続
	連聡棋録 れんそうきろく	最年少プロ棋士の藤井聡太四段が、公式戦連勝最多記録を達成。 神奈川県・太田 光彦 (44 歳) 愛知県・松本 広宣 (56 歳)	連勝記録
	七選ハ当 しちせんはっとう	プロ野球ドラフト会議。清宮幸太郎選手を7球団が指名。 北海道日本ハムファイターズが交渉権を獲得。 大阪府・山野 大輔 (42 歳)	七転八倒
	桐走十内 きそうてんない	桐生祥秀選手、日本人初の100メートル9秒台。 京都府・水崎 覚 (57 歳) 神奈川県・木本 英男 (56 歳)	奇想天外
	蹴勝露杯 しゅうしょうろはい	サッカー日本代表、ワールドカップロシア大会への出場を決めた。 大阪府・渡辺 廣之 (64 歳)	周章狼狽
	金床転決 きんしょうてんけつ	体操の世界選手権で、白井健三・村上茉愛両選手が、種目別床運動で金メダルの快挙。 京都府・堀井 弘 (57 歳)	起承転結
	綱稀祝盛 こうきしゆくせい	稀勢の里関が第72代横綱に昇進し、日本中がお祝いモードで盛り上がった。 愛知県・浅岡 圭吾 (54 歳) 神奈川県・木本 英男 (56 歳)	綱紀肅正
流 行 ・ 芸 能	映利多売 はえりたばい	写真のSNS映えが流行し、フォトジェニックな商品がよく売れた。 愛知県・谷口 由美子 (45 歳)	薄利多売
	便教熱心 べんきょうねっしん	小学生向けの『うんこ漢字ドリル』が大ヒット。 神奈川県・山口 則彦 (51 歳) 東京都・山本 桂子 (54 歳)	勉強熱心
	喜機快回 ききかいかい	「ハンドスピナー」大人気。 東京都・野本 とし夫 (66 歳)	奇奇怪怪
	才職兼B さいしょくけんぴー	キャリアウーマンとwithBのネタで一躍人気者になったブルゾンちえみさん。 大阪府・山野 大輔 (42 歳)	才色兼備
	麻央共感 まおきょうかん	「ガンに隠れずに生きる」という強い想いに、自分ももっと頑張ろうという気持ちになれた。小林麻央さん、大きな勇気をありがとう。 埼玉県・吉井 淳義 (41 歳)	阿鼻叫喚

審査員コメント

俵 万智 (歌人)

まさに青天霹靂だった政界の動き。疲労困憊の宅配便のドライバーさん。

「せいへんへきれき政変霹靂」と「にろうこんばい荷労困配」は、音の重なりを最大限に生かして、元の四字熟語の意味を効果的に響かせました。創作四字熟語の原点ともいうべきオーソドックスな作品です。「ありきためいわく蟻来迷惑」は、訓読みを取り入れた珍しい手法。「せだいこうたい世代皇代」と「ちゅうおうしゅうけん中央習権」は、漢字一字を変えただけで、まさに今年の四字熟語に。シンプルにしてインパクトのある出来栄えです。ローマ字を活用した作品も近年増えてきましたが「じえいおんぶじJ音無事」は、アラートを「音」一字で表現したところがミソですね。同じテーマで競う優秀作品が、今年は例年になく多くて、選ぶのに苦労しました。「きそうてんさい棋聡天才」と「れんそうきろく連聡棋録」、
「きそうてんない桐走十内」と「きゅうきゅうはっしん九九八新」など、それぞれに魅力のあるペアです。みなさんなら、どちらに軍配をあげるでしょうか。最後に、大いに笑わせてもらったのが「ほんらばんしょう盆裸万笑」と「ちんぶんかんぶん珍文漢糞」。意味を凝縮させる漢字ならではの力が、遺憾なく発揮されています。

月	主 な 出 来 事	作 品 例
1	<ul style="list-style-type: none"> ●第45代米大統領にドナルド・トランプ氏が就任。「米国第一」を宣言 ●大相撲、稀勢の里関が第72代横綱昇進。19年ぶり日本出身横綱が誕生 	万事虎風 (ばんじとらふう) 綱稀祝盛 (こうきしゆくせい)
2	<ul style="list-style-type: none"> ●「プレミアムフライデー」スタート。月末金曜午後3時退社で消費喚起 ●アキラ100%さんがお盆を使ったネタを披露し、R-1ぐらんぷり優勝 	勤金早退 (かんこんそうたい) 金曜感謝 (きんようかんしゃ) 盆裸万笑 (ぼんらばんしょう)
3	<ul style="list-style-type: none"> ●電機大手労使が長時間労働の是正など「働き方改革」で初の共同宣言 ●超党派議連が政府に受動喫煙対策を強化するよう求める要請書を提出 	改革勤務 (かいかくきんむ) 非煙楚歌 (ひえんそか)
4	<ul style="list-style-type: none"> ●東京・銀座6丁目に複合商業施設「GINZA SIX」が全面開業 ●ヤマト運輸が宅配便の個人向け料金値上げを発表 	銀六披露 (ぎんろくひろう) 荷労困配 (にろうこんぱい)
5	<ul style="list-style-type: none"> ●日本を含む世界各地で大規模なサイバー攻撃が発生 ●小学生向け『うんこ漢字ドリル』が累計発行部数200万部突破の大ヒット 	電網怪壊 (でんもうかいがい) 珍文漢糞 (ちんぶんかんぷん) 便教熱心 (べんきょうねっしん)
6	<ul style="list-style-type: none"> ●切手と通常はがきの郵便料金が52円から62円に値上げ ●天皇陛下の退位を実現する「退位特例法」成立 ●神戸港で強い毒を持つ南米原産の「ヒアリ」発見。環境省が発表 ●市川海老蔵さんの妻・小林麻央さん逝去。生前のブログ英訳し海外に発信 ●最年少14歳のプロ棋士・藤井聡太四段が29連勝の新記録を達成 	十円貼手 (じゅうえんはって) 郵便料新 (ゆうびんりょうしん) 世代皇代 (せだいこうたい) 火蟻猛走 (ひありもうそう) 蟻来迷惑 (ありきためいわく) 麻央共感 (まおきょうかん) 棋聡天才 (きそうてんさい) 連聡棋録 (れんそうきろく)
7	<ul style="list-style-type: none"> ●九州北部豪雨。福岡・大分県に特別警報。河川の氾濫や土砂崩れ相次ぐ ●福岡県の『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界文化遺産に 	危険水威 (きけんすいゐ) 遺産宗録 (いさんそうろく)
8	<ul style="list-style-type: none"> ●岡山・渋川動物公園のゾウガメが脱走。見つけた親子に懸賞金 ●都心で連続降水21日間を記録。8月では歴代2位 ●お笑い芸人ブルゾンちえみさんがチャリティー番組のマラソンランナーに ●臍帯血の無届け移植の疑いで、医師や業者ら6人逮捕 ●北朝鮮によるミサイル発射で、政府が「Jアラート」を12道県に発信 ●サッカー日本代表、2018年ロシアW杯の出場決定。予選で豪州に勝利 	亀搜園外 (きそうえんがい) 閉口雨続 (へいこううぞく) 才職兼B (さいしょくけんびー) 恐行臍血 (きょうこうさいけつ) J音無事 (じえいおんぶじ) 蹴勝露杯 (しゅうしょうろはい)
9	<ul style="list-style-type: none"> ●秋篠宮ご夫妻の長女・眞子さまと小室圭さんが婚約内定の記者会見 ●陸上100m走で、桐生祥秀選手が9秒98を記録。日本人初の9秒台 ●上野動物園のパンダの赤ちゃん(6月誕生)「シャンシャン(香香)」と命名 ●小池百合子東京都知事が「希望の党」代表就任を表明 	圭眞誓愛 (けいしんせいあい) 月下想人 (げつかそうじん) 桐走十内 (きそうてんない) 九九八新 (きゅうきゅうはっしん) 呼子香香 (こししゃんしゃん) 香名盛大 (こうめいせいだい) 都希之人 (とぎのひと)
10	<ul style="list-style-type: none"> ●ラスベガスの屋外コンサート会場に向け銃を乱射。米史上最悪の死傷者 ●民進党の枝野幸男代表代行ら「立憲民主党」結党を表明。民進党が分裂 ●カズオ・イシグロ氏にノーベル文学賞。長崎生まれの英国人作家 ●体操世界選手権の床運動で白井健三選手と村上茉愛選手が金メダル ●データ改ざんや無資格検査など、大手企業による不正が次々と発覚 ●中国共産党大会が開幕。習近平国家主席の1強体制強まる ●高速道で車間距離不保持(煽り運転)摘発が上半期3000件超。警察庁発表 ●衆議院選挙で自民党ら与党が大勝。安定多数の3分の2議席を確保 ●東京株式市場で日経平均株価が史上初の16営業日続伸 ●プロ野球ドラフト会議、清宮幸太郎選手に7球団競合。日本ハムが交渉権 ●カタルーニャ自治州議会が「独立宣言」。スペイン上院は自治権制限措置 ●2週連続、超大型の台風21号に続き台風22号が日本列島を直撃 	憂銃悲弾 (ゆうじゅうひだん) 一気党編 (いっきとうへん) 政変霹靂 (せいへんへきれき) 筆輝一雄 (ひつきいちゆう) 金床転決 (きんしょうてんけつ) 管理怠制 (かんにたいせい) 中央習権 (ちゅうおうしゅうけん) 煽々恐々 (せんせんきょうきょう) 自公持続 (じこうじぞく) 連日連騰 (れんじつれんとう) 七選ハ当 (しちせんはっとう) 西抗州独 (せいこうしゅうどく) 台風重来 (たいふうちょうらい)
11	<ul style="list-style-type: none"> ●「2017年ヒット商品ベスト30」発表。10位に「ハンドスピナー」 ●「インスタ映え」が新語・流行語大賞にノミネート 	喜機快回 (ききかいがい) 映利多売 (えりたばい)